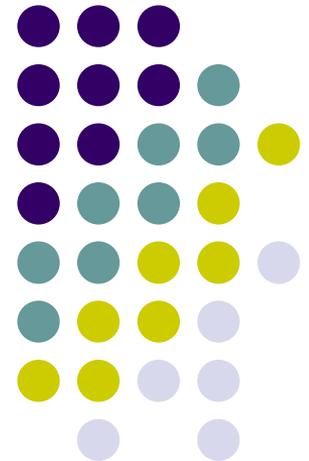
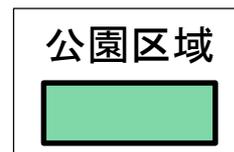


耶馬日田英彦山国定公園 (福岡県地域)

公園計画の変更(一部変更)



耶馬日田英彦山国定公園 (福岡県地域)の概要



- 指定 昭和25年7月29日 我が国最初の国定公園
昭和45年7月 公園計画の変更(特別地域の指定)
平成14年10月 再検討
- 面積 総面積 85,024ha (福岡県、熊本県、大分県)
うち福岡県地域 8,269ha (3市4町1村)

火山活動と河川浸食からなる山岳景観 ～自然林と豊富な植生が残る信仰の山～



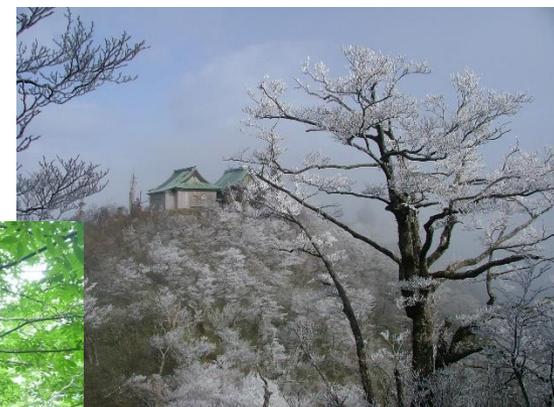
- 信仰の山として有名な英彦山・犬ヶ岳は溶岩台地(メーサ)から成り、溶岩侵食山地(ビュート)で有名な鷹ノ巣山などを含む。
- 英彦山山地は、数百万年前の火山活動でできた古い時代の火山
- 冬の季節風の影響を受けやすく湿潤でありコケ類も多く、侵食による複雑な地形のため英彦山の特徴であるブナ、シオジ林などの自然林のほか、豊富な植生がみられる。



犬ヶ岳より英彦山へ続く山並みを望む



英彦山北岳シオジ林



冬の英彦山上宮

変更のポイント



○生態系維持回復計画の追加

本公園内において、自然災害やシカの食害に起因する絶滅危惧植物の個体数の減少、森林の疎林化や草原化、林床植生の貧弱化等の被害が生じていることから、これらの対策として公園計画に生態系維持回復計画を追加するもの



林床植物を採食するシカ

☞福岡県保健環境研究所(英彦山・犬ヶ岳におけるシカ対策より抜粋)

☞英彦山・犬ヶ岳山地の自然と植物p227(熊谷信孝著)参照
シカに樹皮を剥がされたリョウブ



シカの生息域の拡大・個体数の増加



■ 福岡県内においては、県内を5km四方のメッシュで分け、シカの生息状況の調査が行われている。



- 昭和53年度
: 全302メッシュ中38メッシュ⇒13%
平成23年度
: 全302メッシュ中109メッシュ⇒36%
約3倍増加
- 県内の生息数は平成26年度末時点で25,300頭と推定、特に**英彦山・犬ヶ岳地域で生息数が多くなっている**
推定生息数 約23,000頭
生息密度 平均約20頭/km²
適正:5頭/km²

⇒ 農林業被害、林床植生の劣化

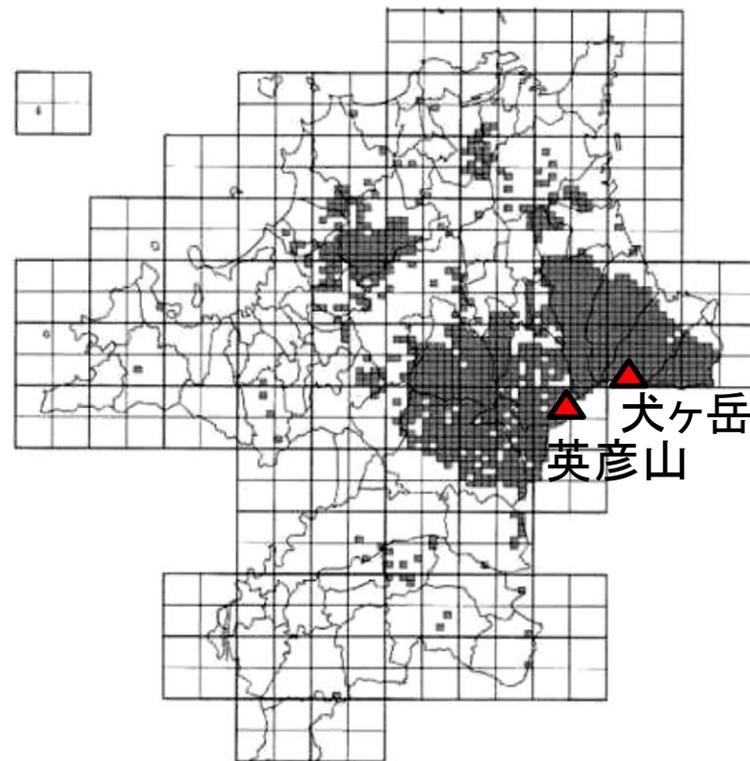


図 福岡県におけるシカの生息地域 (H23年時点)

現在のシカ対策の状況



- 平成25年度以降に国の交付金による管理捕獲支援の強化から捕獲数は年々増加、平成27年度には9600頭が捕獲(推定個体数の約38%)
- 近年、英彦山・犬ヶ岳をはじめとする高標高地域においても、植生影響が確認されており平成28年度より捕獲を進めているところ

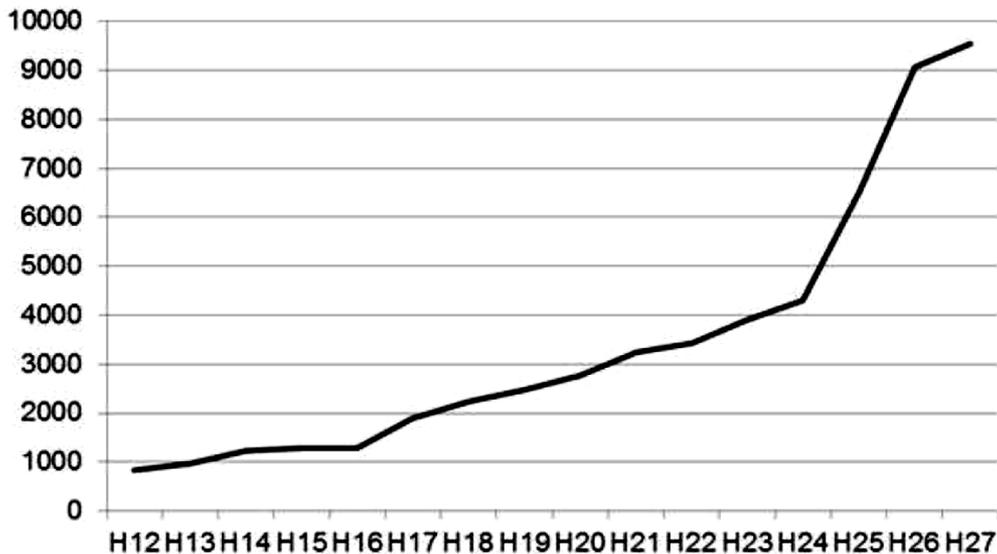


表 福岡県におけるシカ捕獲頭数の推移

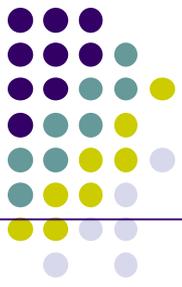
福岡県自然環境課提供

箱わなで捕獲されたシカの親子(英彦山)



福岡県保健環境研究所(英彦山・犬ヶ岳におけるシカ対策より抜粋)

シカによる植生への影響(英彦山・犬ヶ岳地域)



■衰退の経緯

- 1960年代初め シカは犬ヶ岳で見られる程度で少数
- 1991年(H3) 台風17号、19号により英彦山山地における自然災害が発生
千本杉が壊滅、**山頂部のブナ林の倒木・立ち枯れ被害**
- 1998年(H10) 森林の自然再生を開始(英彦山におけるブナ植栽など)
- 2006年(H18) 登山道沿いやブナの植栽地におけるシカ食害がよくみられる
- 2007年(H19) 英彦山のスキー場のネザサの新芽などの喰い荒しが顕著
中岳の草原内にシカ道が幾筋もみられる
- 2014年(H26) **山頂部のササ植生の衰退＝草原化が顕著 ⇒ 景観の変化**



☞英彦山・犬ヶ岳山地の自然と植物p227(熊谷信孝著)参照



英彦山におけるブナ群落(中岳山頂)の変化

☞福岡県自然環境課提供

■ブナ群落が消滅しかけている英彦山北岳鞍部の様子





シカによる植生への影響(英彦山・犬ヶ岳地域)

■希少性の高い植物への影響

➤ 福岡県RDBの危機の要因がシカ食害とされている種 福岡県自然環境課提供

○センダイソウ



絶滅危惧IA類(福岡県RDB)

○タマガワホトギス



絶滅危惧IA類(福岡県RDB)

○ヒロハナライシダ



絶滅危惧IA類(福岡県RDB)
絶滅危惧IB類(環境省RDB)

ほか

上記の種を含め、食害だけでなくブラウジングライン(いわゆるディアライン)による林床の風通しがよくなるなど環境条件の変化による湿生植物の減少が懸念される



シオジ林では高さ1.5mまでのブラウジングライン(いわゆるディアライン)が明瞭で縁は遠くまで見通せる
英彦山・犬ヶ岳山地の自然と植物p227(熊谷信孝著)参照

生態系維持回復計画の追加



- 耶馬日田英彦山国定公園(福岡県地域)において、
英彦山及び犬ヶ岳生態系維持回復計画を追加

本計画追加のうえ、福岡県にて下記の事業計画を策定

➤ 現状の調査

小規模防護ネット(英彦山12か所、犬ヶ岳3か所)内の絶滅危惧植物の分布及び食害状況調査などを継続(H26年度～英彦山絶滅危惧種保護対策事業)

➤ ニホンジカの防除

福岡県(耶馬日田英彦山国定公園英彦山・犬ヶ岳地区)指定管理鳥獣捕獲事業に基づく積極的な捕獲(H28年度～)

➤ 植生の保護のための防鹿柵の設置

国有林野においては森林管理署と連携した保護対策を実施し、それ以外の地域は本計画に基づく自然環境交付金による防鹿柵を設置(予定)

➤ 事業の効果検証のためのモニタリング調査

全県的なシカ生息密度調査に加え、ライトセンサス調査やカメラトラップ調査を実施し、調査の結果等の情報を収集し、分析を行う